

『Physicalラーニングマップ』 訂正表 (初版第1刷用)

第2章 授業づくり実践編

5 E ボール運動系(1) 目標と評価規準の設定

ボール遊び<1段階 上肢★>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・教師のやり方をみて(同じように)ボールを転がしたり投げたりすることが分かる。 ・教師と一緒に、ボールを転がしたり投げたりすることができる。	・いろいろなボール、活動の場や遊び方など遊び楽しんでいる。 ・教師と一緒にボールを転がしたり投げたりする楽しさや心地よさを体の動き(表情)や声(擬態語や擬音語)で表現し伝えている。	・ボール遊び(転がす、投げる)に楽しんで取り組もうとしている。 ・簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。

ボールを使った運動やゲーム <2段階 上肢★★>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・またぐ、跳ぶ動きや運動を経験することで行い方(跳び方、体の動かし方など)が分かる。 ・教師の支援や補助を受けながら片足や両足で上方や前方に跳んだり、低い障害物を歩いたり走ったりしながらまたいだり跳び越えたりすることができる。	・またぐ、跳ぶ動きや運動に慣れ、様々な障害物のまたぎ方や跳び越え方など行い方を工夫している。 ・またいだり跳んだりする運動の楽しさや感じたことを体の動きや言葉で表現し伝えている。	・またいだり、跳んだりする動きや運動に楽しんで取り組もうとしている。 ・簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしている。

ボールを使った運動やゲーム <3段階 上肢★★★>

※設定児童の実態

…協調運動が苦手。体を動かすことは好きだが、ボールを操作すること、それに合わせた体の動かし方がうまくいかないためボール運動は苦手と感じている。理解力は高く、指示を聞いて頑張ろうとする姿が見られる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ボールの持ち方(手の平の広げ方、ボールを持たない手の使い方)、投げ方(足の出し方、身体の捻り方)を知っている。 ・片手で持ち、反対の手で少し支えながら体の捻りを使ってボールを投げることができる。 ※個々によって扱う技や動きが違うので、それぞれの規準による。	・教師の言葉掛けや指示・合図(リズム)に合わせて身体を動かし、ボールの持ち方、足の出し方、身体の捻り方などその行い方の工夫をしている。 ・ボールを“中の人”に当てるため、ボールが当たらないようによけるために考えたこと、気付いたことを友達に伝えている。	・ボールを使った運動やゲームに楽しんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動しようとしている。 ・場や器械・器具の安全に気を付けてようとしている。 ・場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。

本文中の表記に誤りがございました。
以下の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

■67ページ中段 ボールを使った運動やゲーム<2段階 上肢★★>

ボールを使った運動やゲーム<2段階 上肢★★>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・教師や友達のやり方を真似したり、教師の支援や補助を受けたりしながら、的に向かってボールを転がしたり、投げたり、教師や友達とボールの受け渡しをしてゴールにボールを運んだりすることを楽しんでいる。	・ボールを使ったゲームでは、的に向かってボールを転がしたり、投げたり、教師や友達とボールの受け渡しをしてゴールにボールを運んだりするその楽しさや感じたことを体の動きや擬態語・擬音語で表現している。 ・教師の手本を見たり教師の支援や補助を受けながら、ボールに当たらないように、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることを楽しんでいる。	・ねらったところにボールを転がしたり投げたりして、得点を得ようと、ゲームに取り組もうとしている。 ・簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に楽しくゲームをしようとしている。 ・場の準備や片づけを教師や友達と一緒にしようとしている。

67ページ

(第2刷で修正予定)